

自動車盗の発生状況(令和元年12月末)

街頭
犯罪

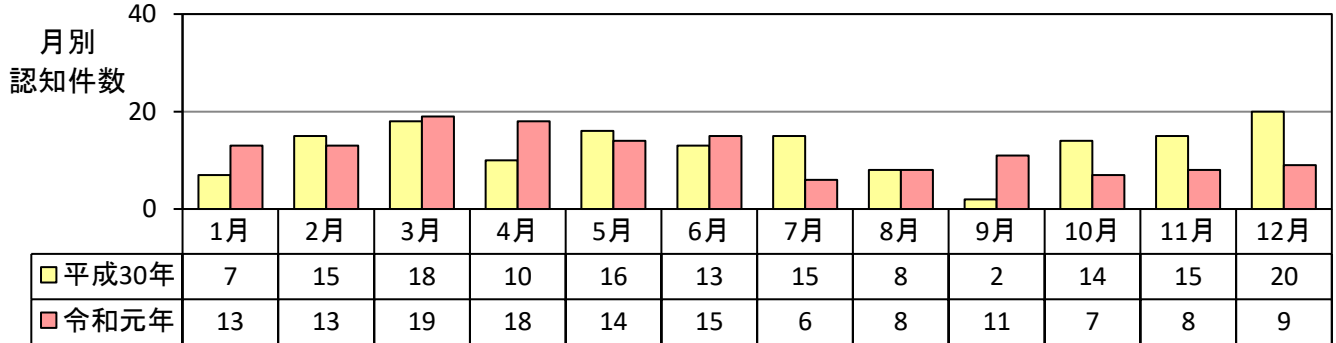
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
141	-12	-7.8%

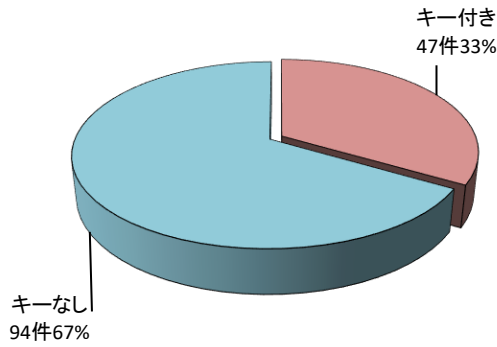
被害回復件数	被害回復率
42	29.8%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和元年12月末、県内の自動車盗の発生は141件で、約3日に1台が盗まれており、総被害額は約3億2,671万円、被害1件あたり232万円で、前年比-12件(増減率-7.8%)となっています。

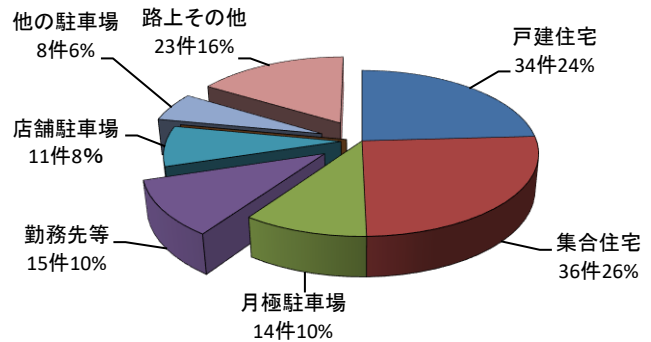


2 被害車両のキーの有無



キー付き被害は33%

3 被害場所



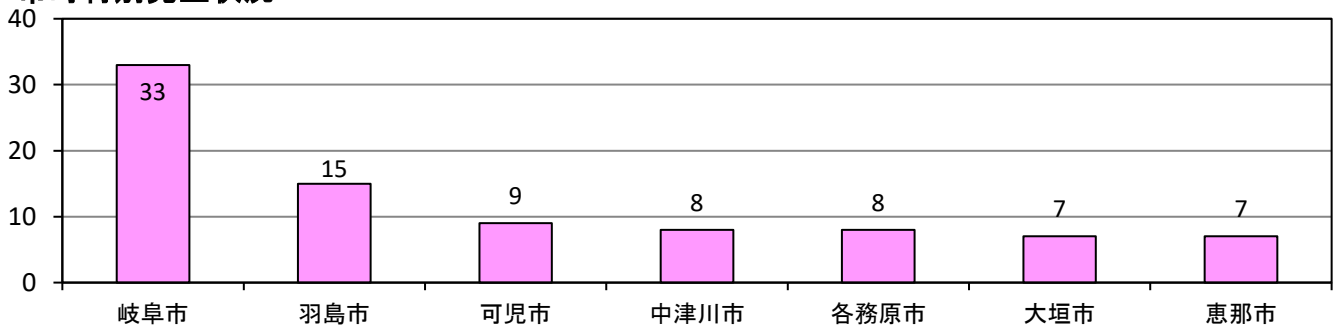
自宅周辺における被害は60%

4 被害車両の種別

車種別認知件数	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
	92	24	9	16

※未遂12件

5 市町村別発生状況



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和元年12月末)

街頭
犯罪

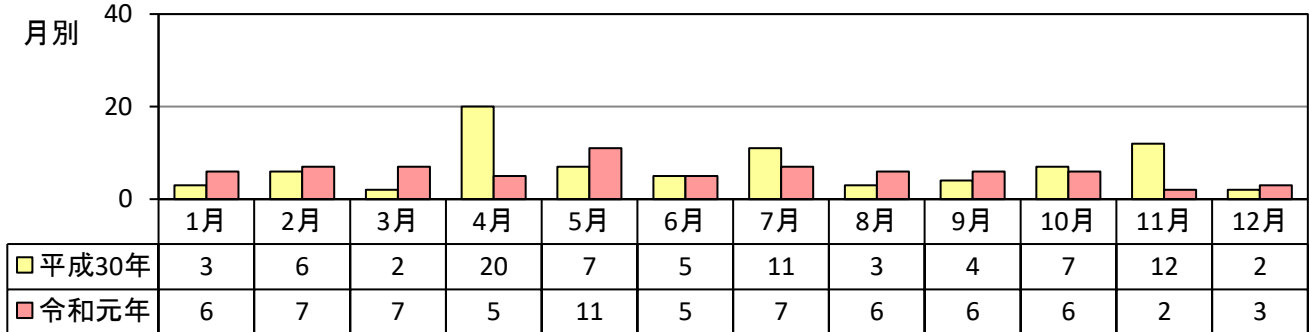
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
71	-11	-13.4%

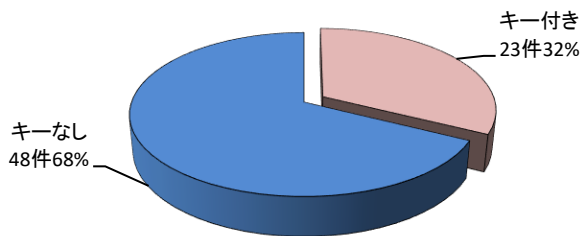
被害回復件数	被害回復率
37	52.1%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和元年12月末、県内のオートバイ盗の発生は71件で、約5日に1台が盗まれており、うち原動機付自転車の被害が49件(全体約69.0%)を占め、全体では前年比-11件(増減率-13.4%)となっています。

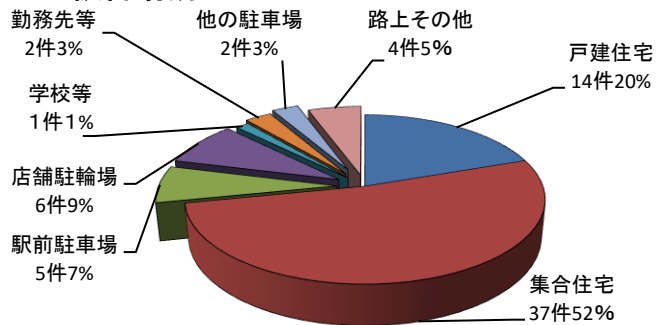


2 被害車両のキーの有無



キー付き被害は32%

3 被害場所

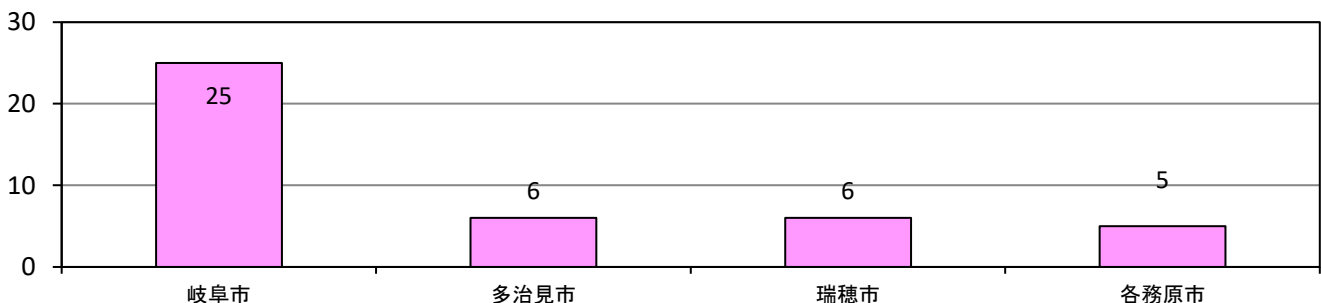


自宅周辺における被害は72%
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

4 被害者の年代

年齢別	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	法人
認知件数	11	22	12	10	10	5	1

5 市町村別発生状況



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和元年12月末)

街頭
犯罪

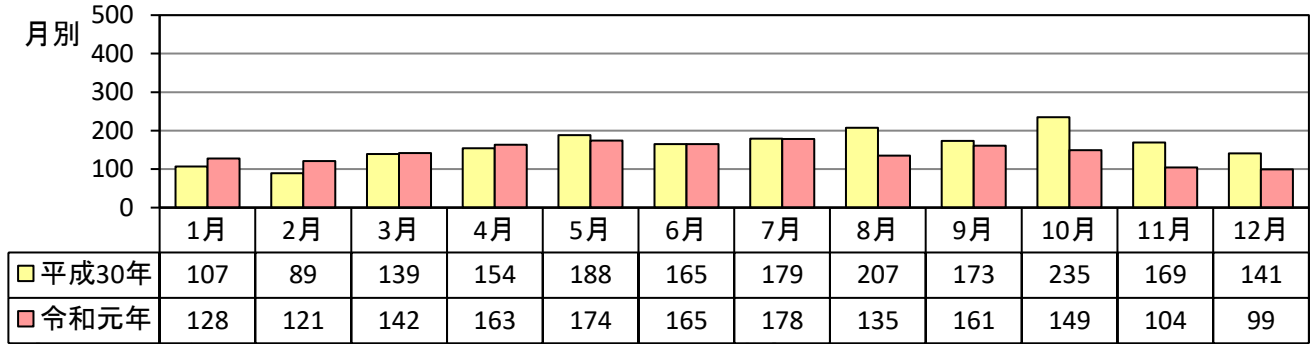
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1719	-227	-11.7%

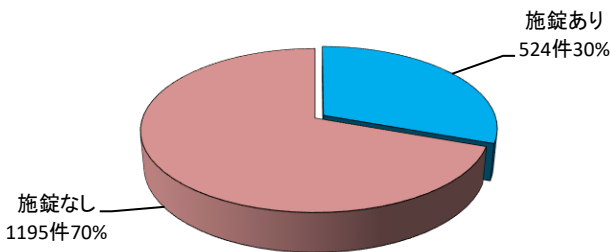
被害回復件数	被害回復率
1096	63.8%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和元年12月末、県内の自転車盗の発生は1,719件で、1日平均約5台が盗まれており、前年比-227件(増減率-11.7%)となっています。自転車盗は刑法犯全体の約13.4%を占め、被害の多い犯罪となっています。

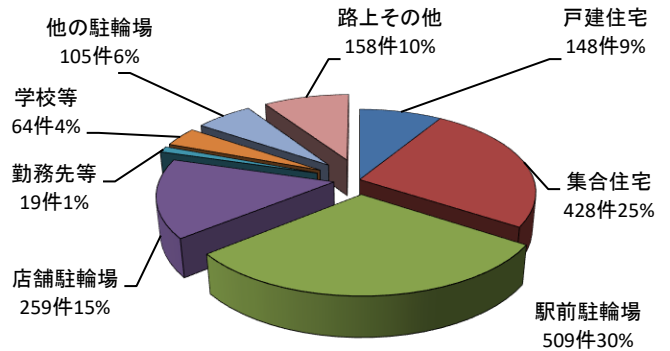


2 被害車両の施錠の有無



無施錠被害は70%

3 被害場所

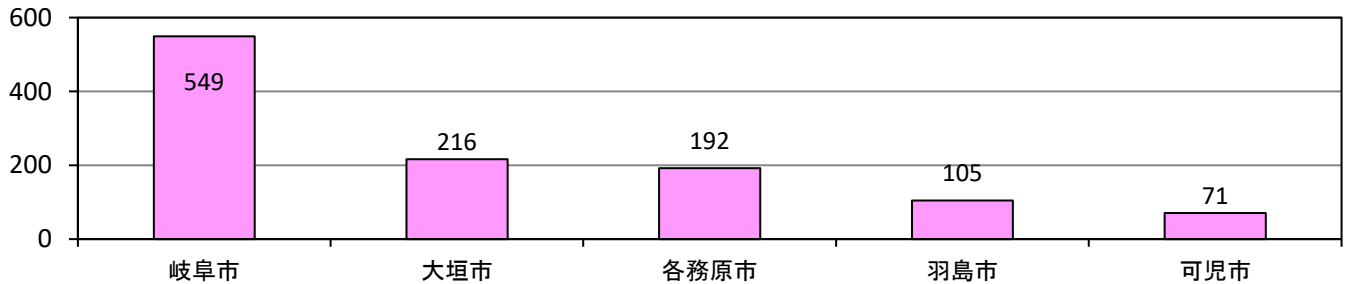


自宅周辺における被害は34%
※不明 29件

4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	16	124	573	244	78	684
(うち無施錠)	13	99	434	184	54	411

5 市町村別発生状況



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

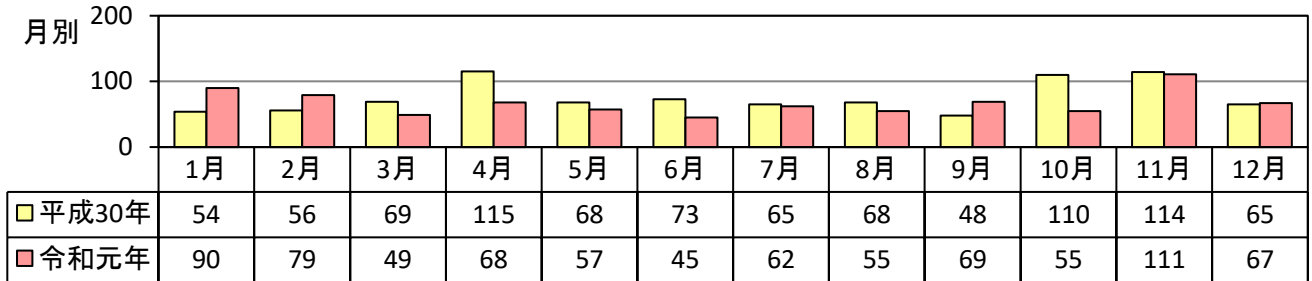
車上ねらいの発生状況(令和元年12月末)

街頭
犯罪

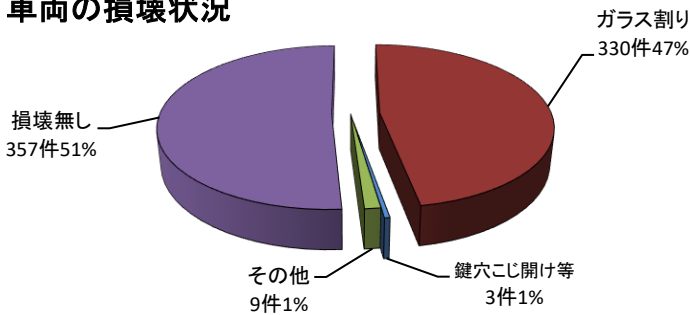
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
807	-98	-10.8%

令和元年12月末、県内の車上ねらいの発生は330件で、1日平均約2台が被害にあっており、被害総額は約3,588万円、被害1件あたりの平均被害額約4万円で、前年比-98件(増減率-10.8%)となっています。車上ねらい被害のうち357件(約51%)は損壊なしの被害で無施錠とみられます。



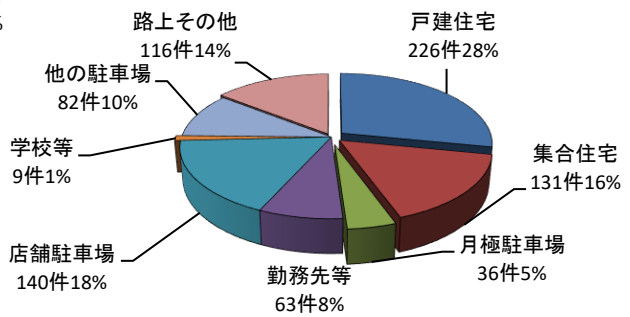
2 車両の損壊状況



損壊無しによる被害は51%

※ 108件は不明

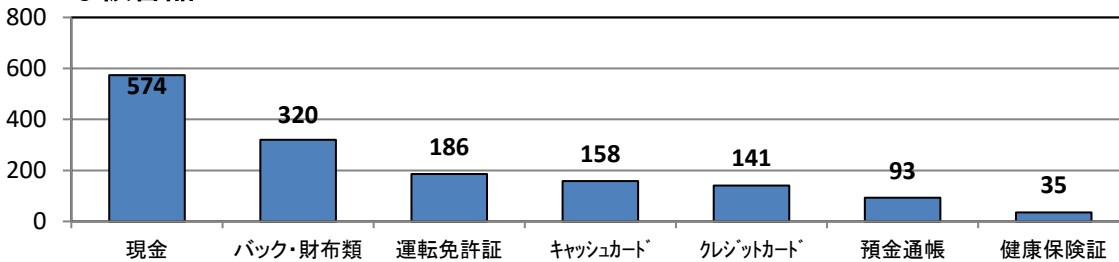
3 被害場所



自宅周辺による被害は49%
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

※ 4件は不明

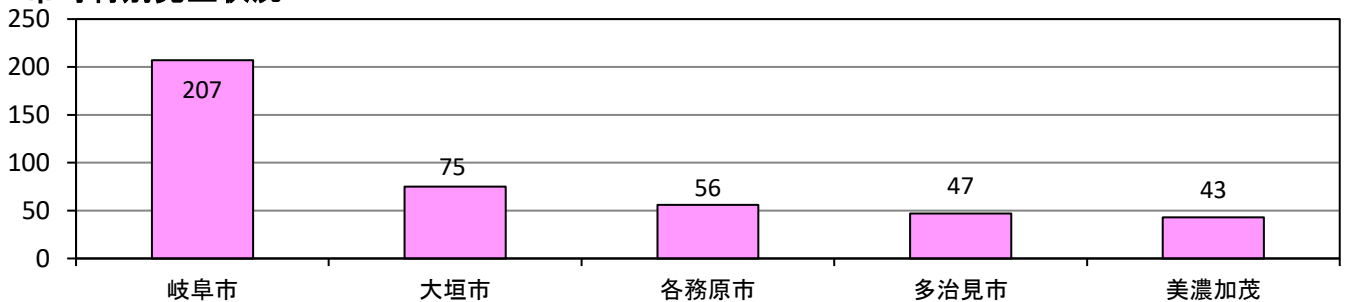
4 主な被害品



※被害品を複数計上



5 市町村別発生状況



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

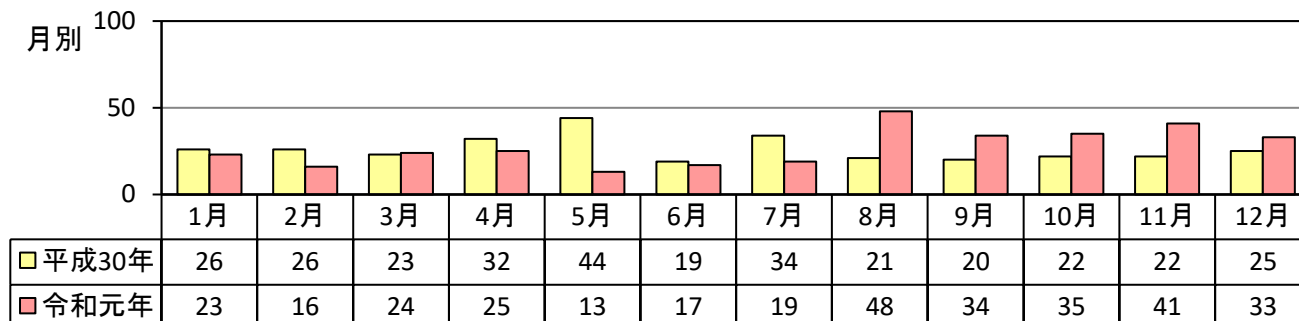
1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場所は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

部品ねらいの発生状況(令和元年12月末)

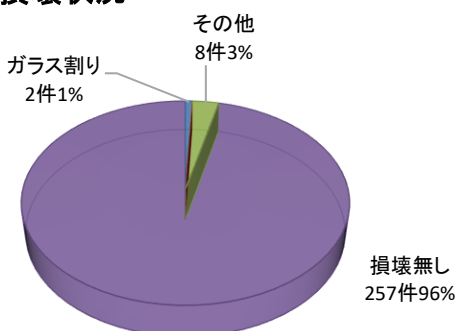
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
328	+14	+4.5%

令和元年12月末、県内の部品ねらいの発生は328件で、1日平均約1台が被害にあっており、被害総額は約637万円、被害1件あたりの平均被害額約2万円で、前年比14件(増減率+4.5%)となっています。



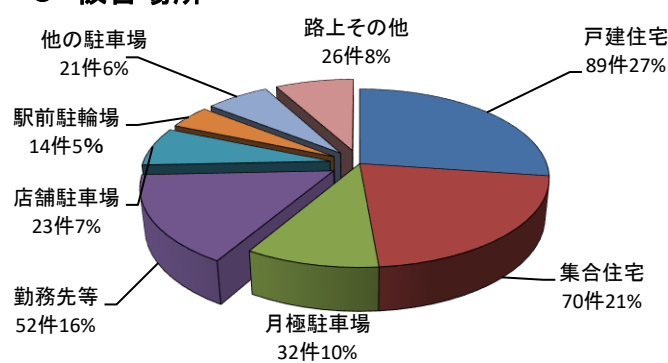
2 車両の損壊状況



部品取り外し等による損壊なしの被害は96%

※ 61件は不明

3 被害場所



自宅周辺による被害は58%
(戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

※ 1件は不明

ナンバーやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。

○ナンバープレート盗難防止ネジ

○タイヤ盗難防止ナット

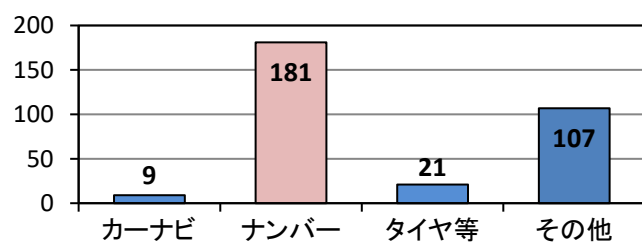
○バッテリー盗難防止ロックナット

などによる**車両部品に対する防犯**が必要です!

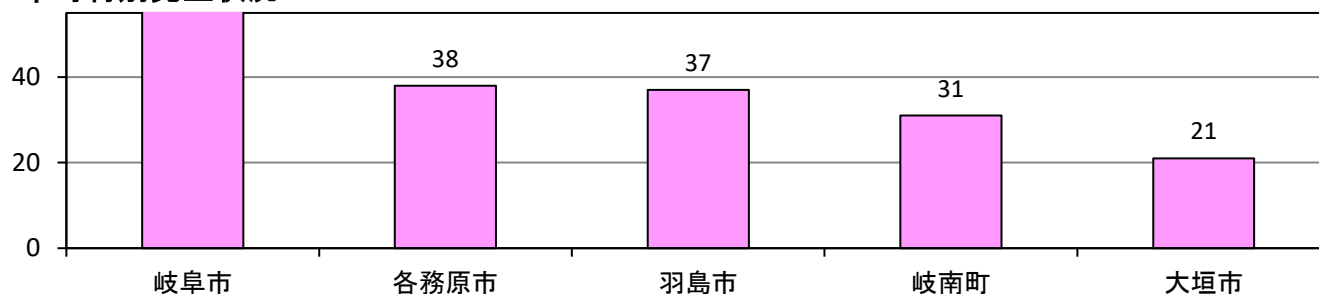
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等がねらわれています。

※ 未遂11件

4 主な被害品



5 市町村別発生状況



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

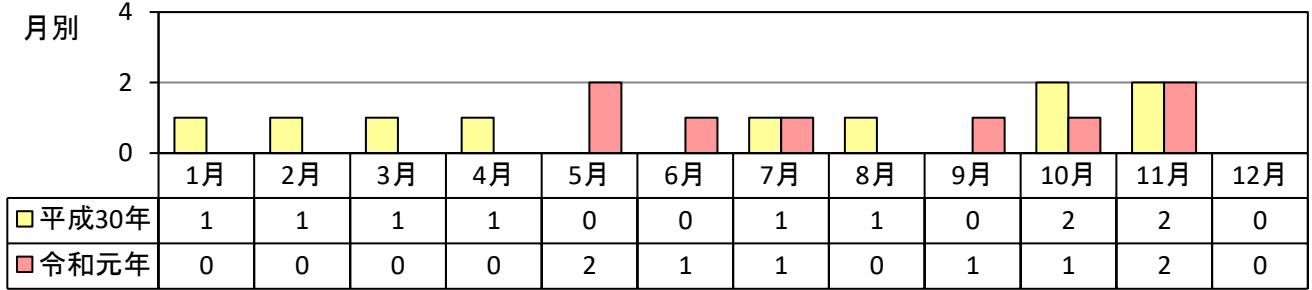
1. カーナビには「カーナビ用盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

ひったくりの発生状況(令和元年12月末)

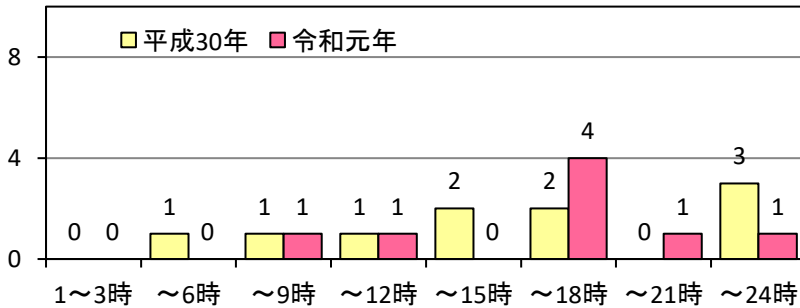
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
8	-2	-20.0%

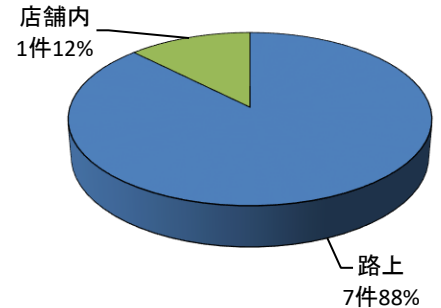
令和元年12月末、県内のひったくりは8件発生しており、被害総額は約39万円、被害1件あたりの平均被害額約5万円で、前年比-2件(増減率-20.0%)となっています。



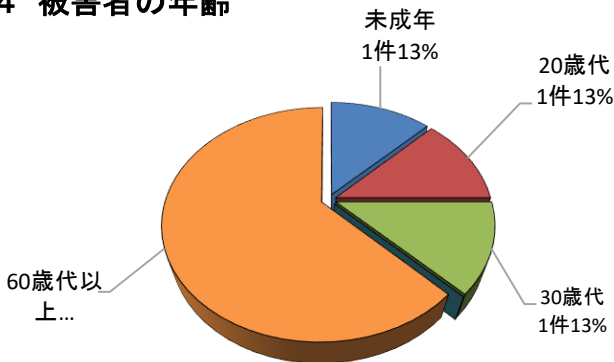
2 時間帯別発生状況



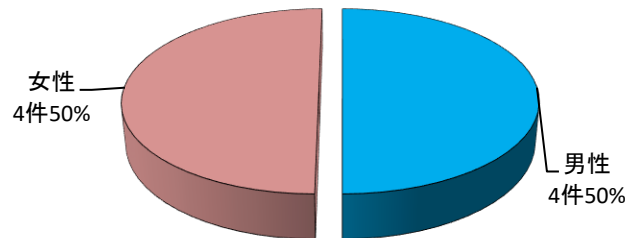
3 場所別発生状況



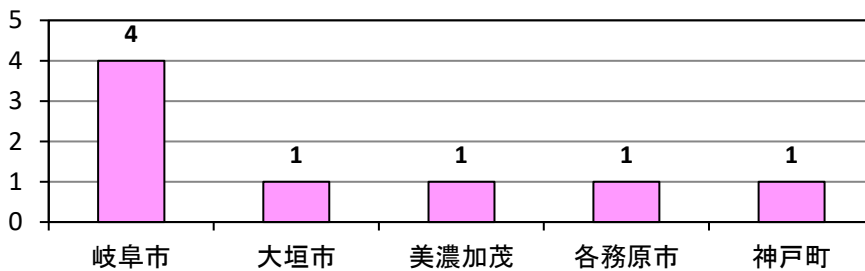
4 被害者の年齢



5 被害者の性別



6 市町村別発生状況



～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

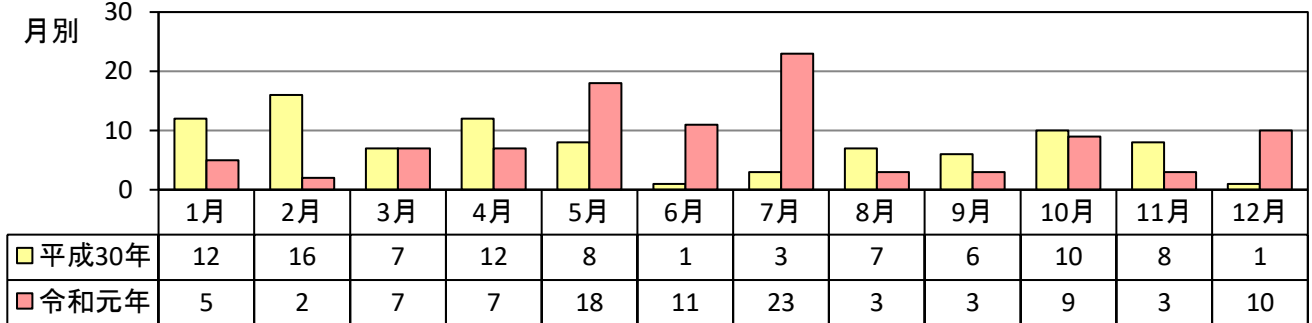
自販機ねらいの発生状況(令和元年12月末)



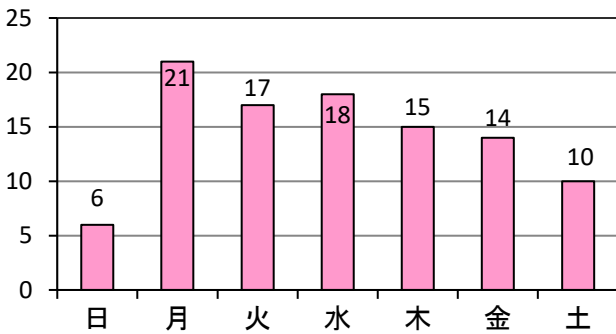
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
101	+10	+11.0%

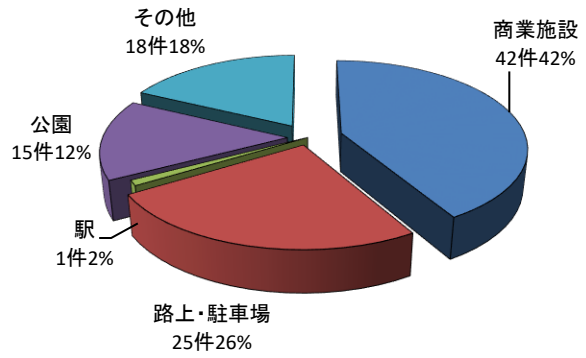
令和元年12月末、県内の自販機ねらいの発生は101件で、約4日に1件発生しており、被害総額は約209万円、被害1件あたりの平均被害額約2万円で、前年比+10件(増減率+11.0%)となっています。



2 曜日別発生状況



3 場所別発生状況



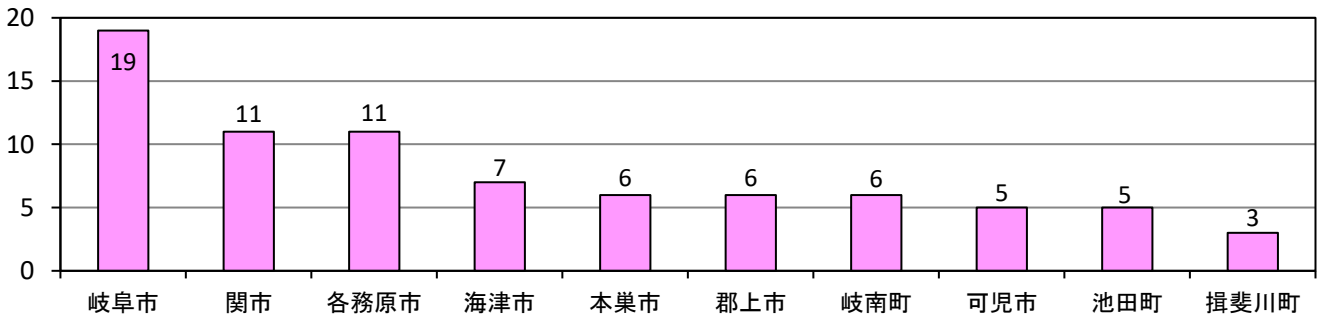
商業施設の被害は42%

4 地域別発生状況

地域別	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
認知件数	49	22	25	3	2



5 市町村別発生状況



～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害にあっていることから、自動販売機自体を堅牢化しておきましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しておきましょう。

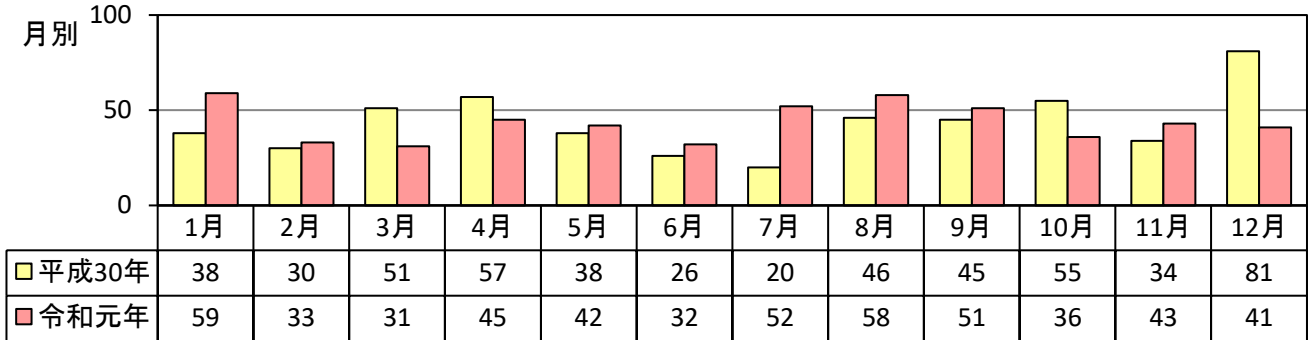
空き巣の発生状況(令和元年12月末)

侵入
犯罪

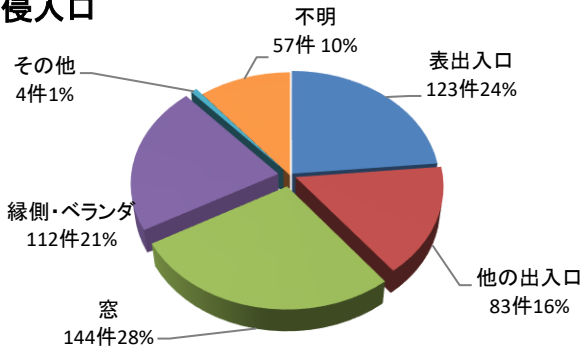
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
523	+2	+0.4%

令和元年12月末、県内の空き巣の発生は523件で、1日平均約1件発生しており、被害総額は約6億9,616万円(同時被害に係る車両台を含む)、被害1件あたりの平均被害額約133万円で、前年比+2件(増減率+0.4%)となっています。

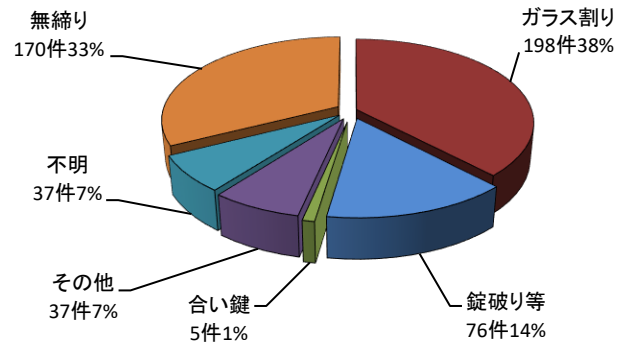


2 侵入口



窓やベランダからの侵入による被害は49%

3 侵入方法



無締りによる被害は33%

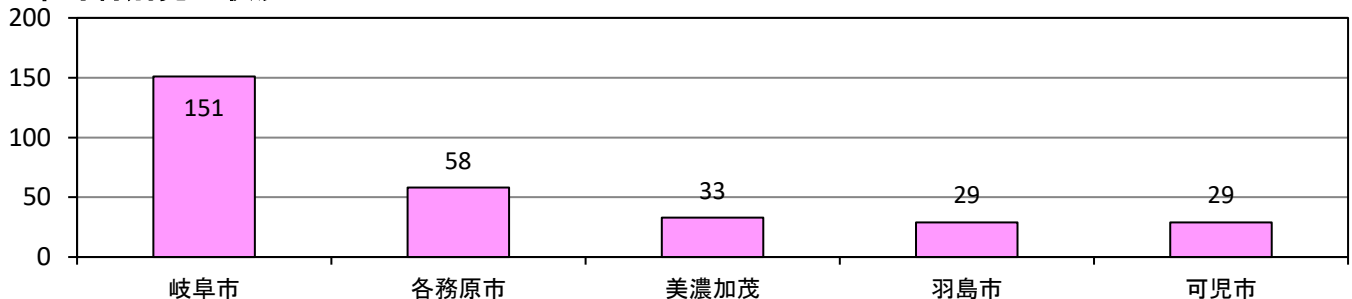
4 建物別発生状況

建物別	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)
認知件数	423	71	26

※ 低層 ~ 2階建て以下
 ※ 中高層 ~ 3階建て以上
 ※ その他 3件

※戸建住宅での被害が約77%

5 市町村別発生状況



~ 空き巣被害防止のポイント ~

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

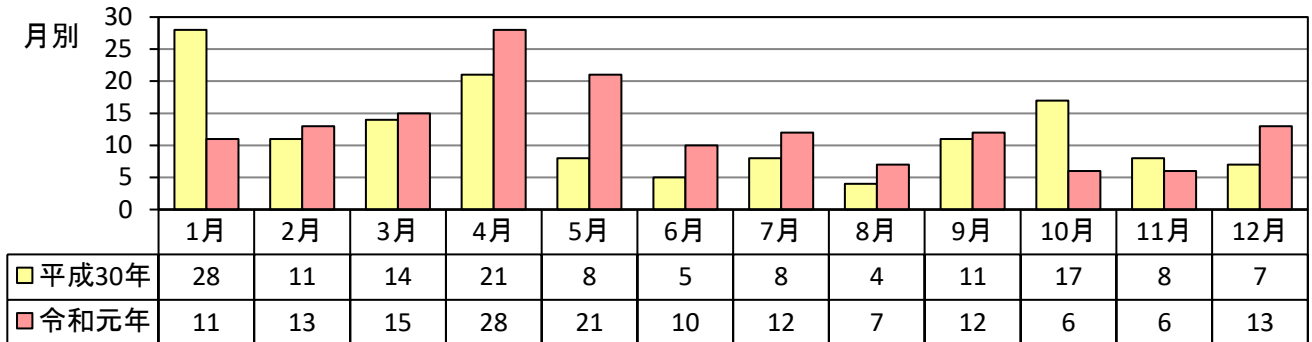
忍込みの発生状況(令和元年12月末)

侵入
犯罪

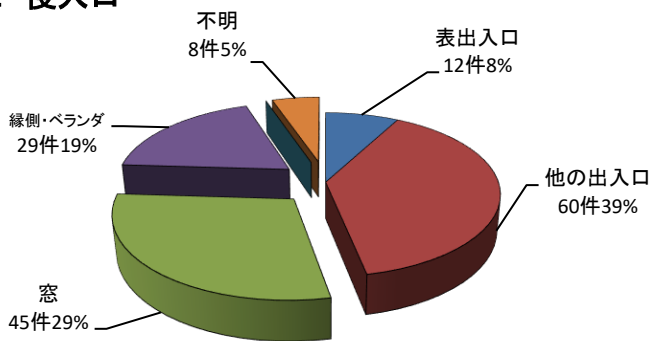
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
154	+12	+8.5%

令和元年12月末、県内の忍込みの発生は154件で、約2日に1件発生しており、被害総額は約1億6,000万円、被害1件あたりの平均被害額約104万円で、前年比+12件(増減率+8.5%)となっています。

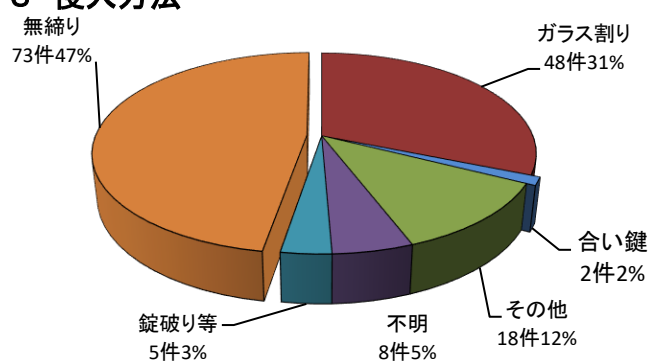


2 侵入口



表出入口や他の出入口による被害は47%

3 侵入方法



無締りによる被害は47%

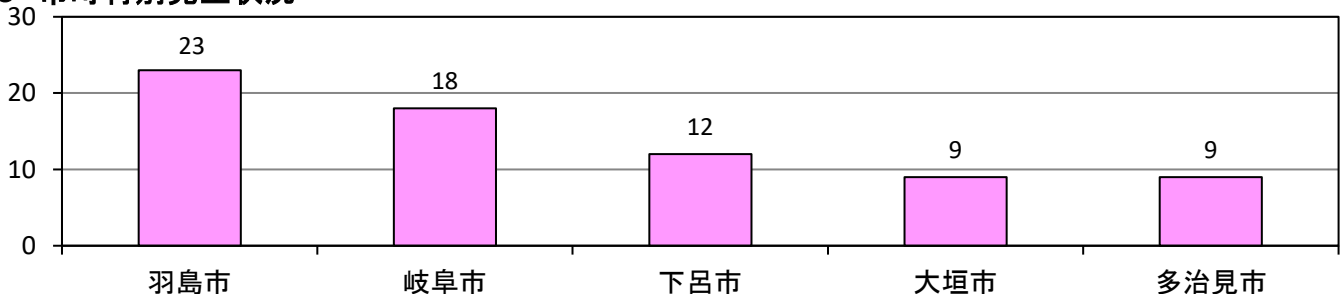
4 建物別発生状況

建物別	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)
認知件数	145	3	3

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上
※ その他 3件

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況



~ 忍込み被害防止のポイント ~

1. 在宅時でも出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

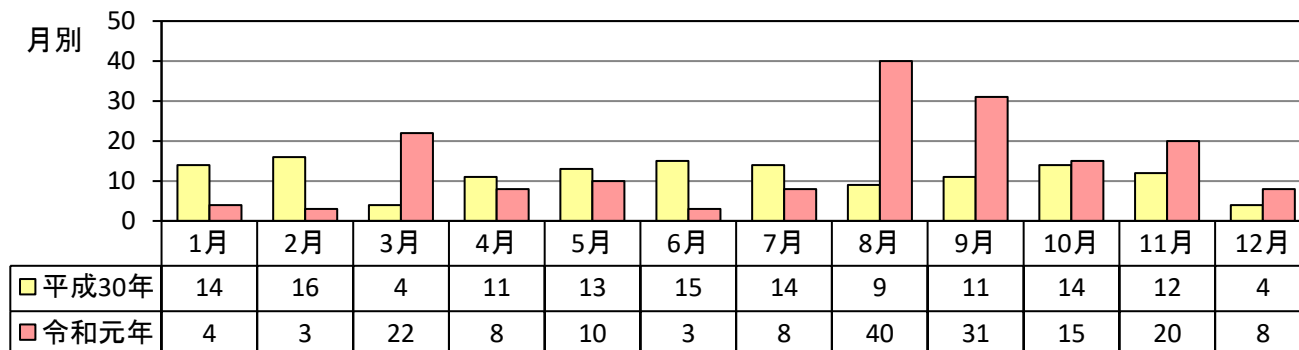
事務所荒しの発生状況(令和元年12月末)

侵入
犯罪

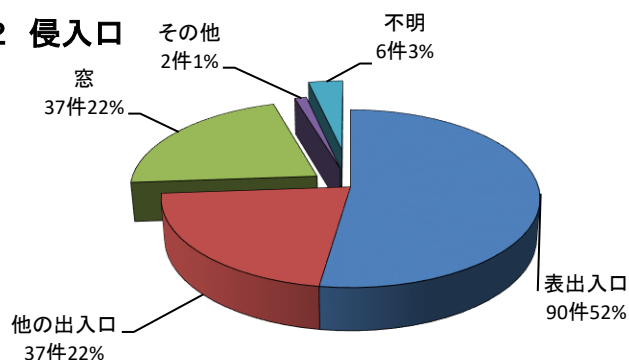
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
172	+35	+25.5%

令和元年12月末、県内の事務所荒しの発生は172件で、約2日に1件発生しており、被害総額は約4,352万円、被害1件あたりの平均被害額約25万円で、前年比+35件(増減率+25.5%)となっています。

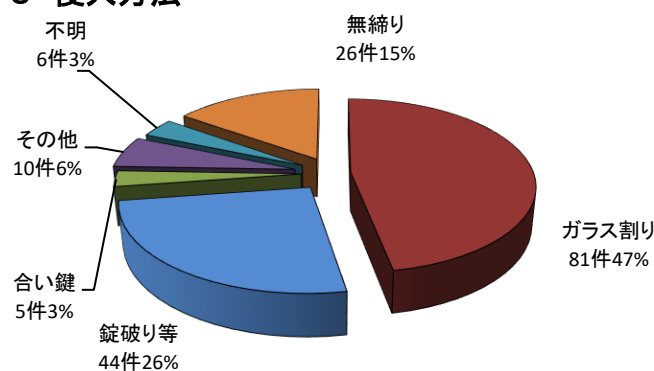


2 侵入口



表出入口や他の出入口による被害は74%

3 侵入方法

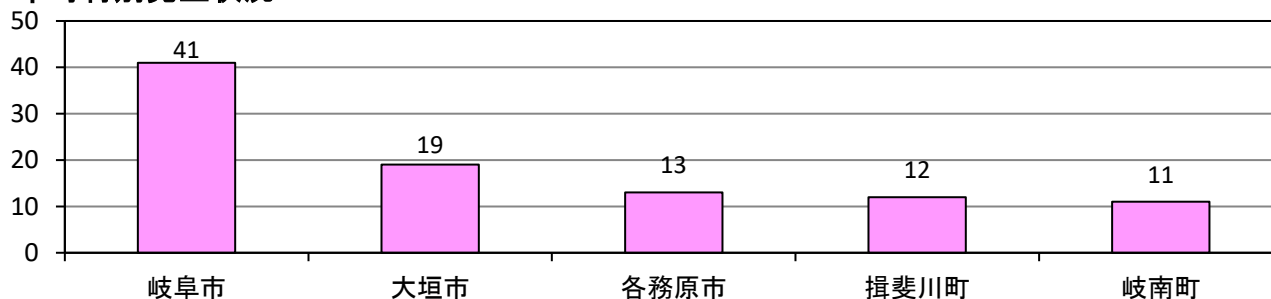


ガラス割りによる被害は47%

4 建物別発生状況

建物別	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
認知件数	151	2	12	7

5 市町村別発生状況



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

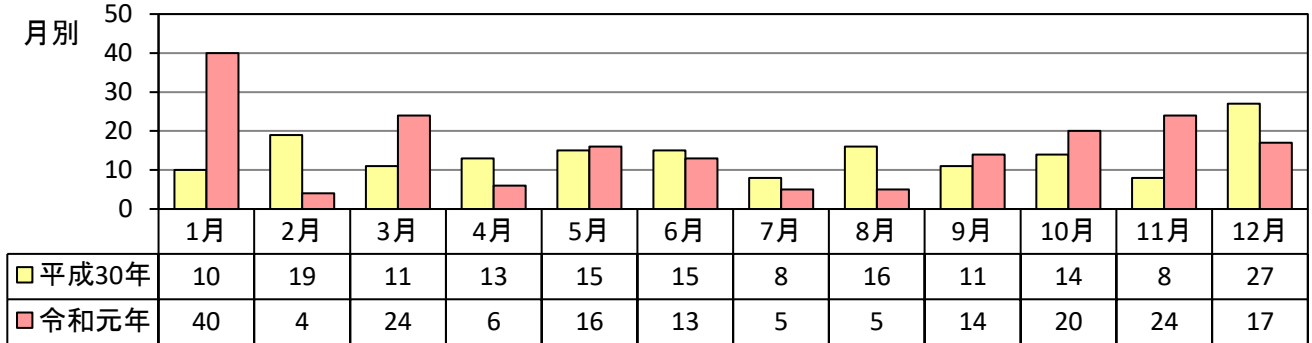
出店荒しの発生状況(令和元年12月末)

侵入
犯罪

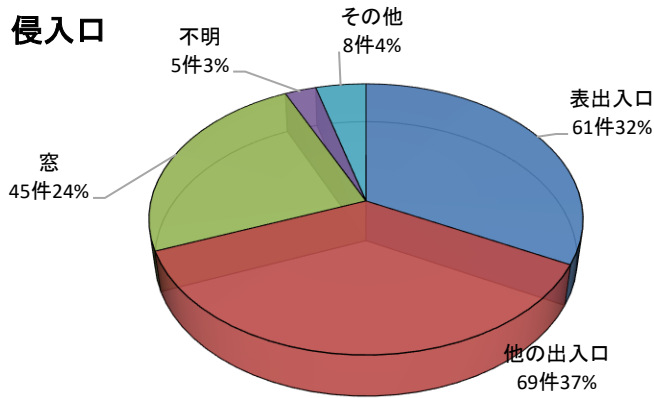
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
188	+21	+12.6%

令和元年12月末、県内の出店荒しの発生は188件で、約2日に1件発生しており、被害総額は約6,084万円、被害1件あたりの平均被害額約32万円で、前年比+21件(増減率+12.6%)となっています。

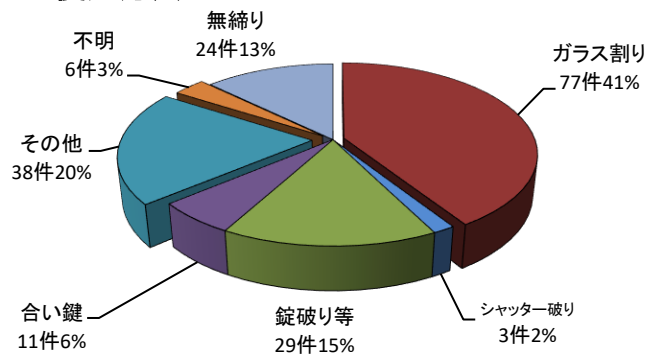


2 侵入口



表出入口や他の出入口による被害は69%

3 侵入方法



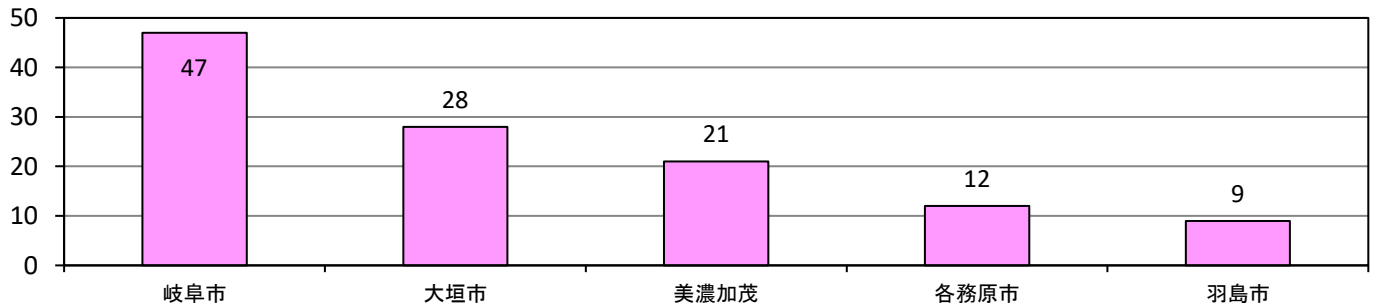
ガラス割りによる被害は41%

4 建物別発生状況

建物別	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
認知件数	89	91	5	3

※飲食店の被害が発生

5 市町村別発生状況



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

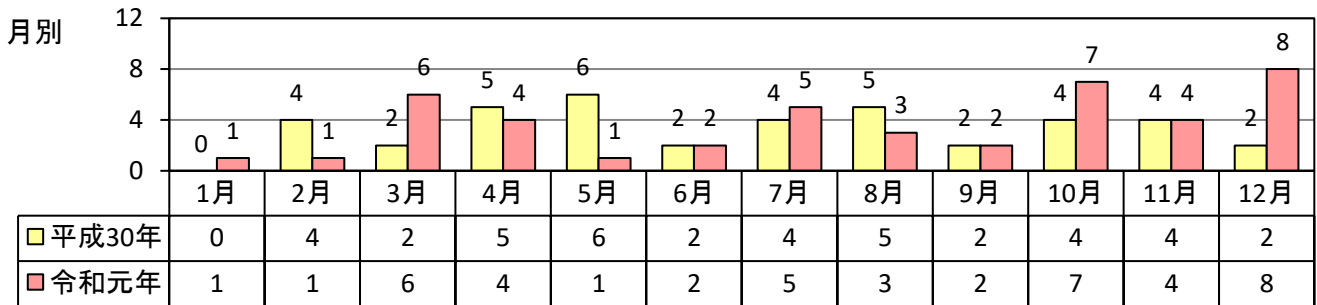
強制わいせつの発生状況(令和元年12月末)

その他

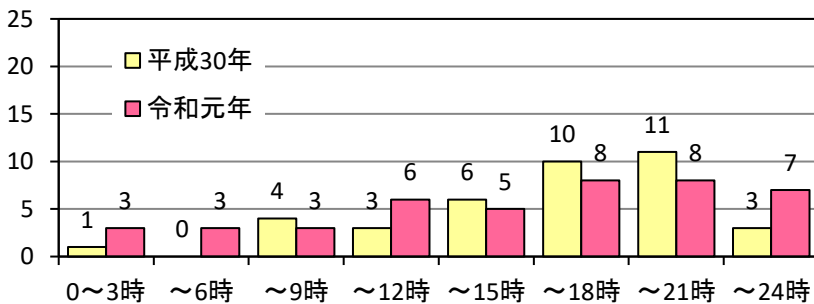
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
44	+4	+10.0%

令和元年12月末、県内の強制わいせつは44件、前年比+4件(増減率+10.0%)となっています。



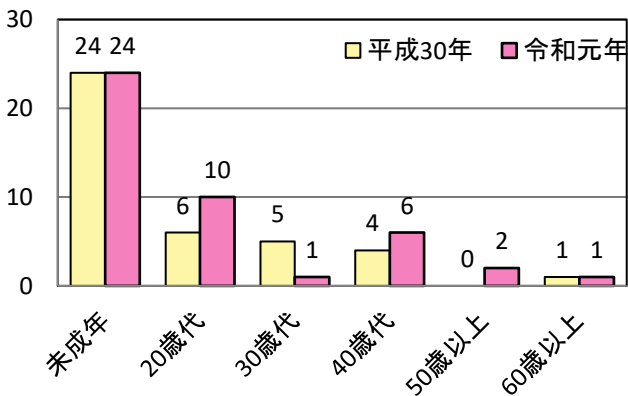
2 時間帯別発生状況



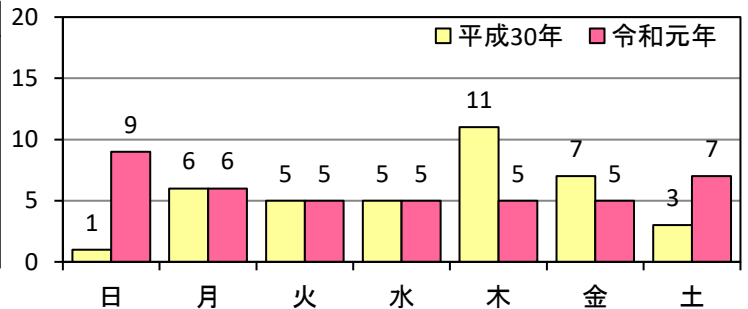
※平成30年中 不明 2件
 ※令和元年中 不明 2件



3 被害者の年齢



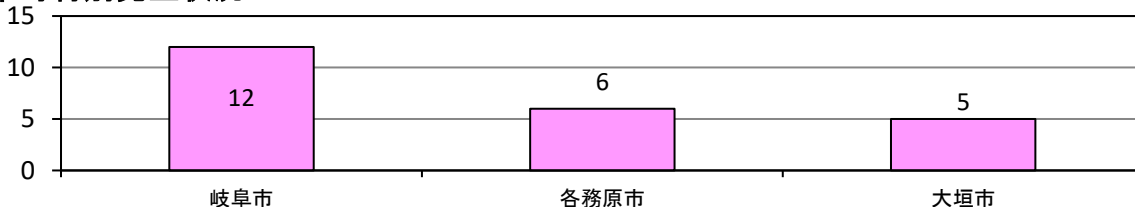
4 曜日別発生状況



※平成30年中 不明 2件
 ※令和元年中 不明 2件



5 市町村別発生状況



～ 強制わいせつ被害防止のポイント ～

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳をふさがず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンをかけて対応するよう心掛けましょう。